



中央聖書神学校 Central Bible College CBC後援会だより

CBC後援会への
ご支援感謝致します。



中央聖書神学校校長

北野 耕一

これまで、「みんなのCBC」という意識で神学校の運営を心がけてきましたが、この気運が少しずつ高まり、後援会を通して中央聖書神学校を支える方々が着実に増していることを改めて感謝申し上げます。

アッセンブリー誌等でも報告されていますが、当教団の教職の高齢化が進んでいる折から、新しい伝道者を継続的に輩出することは緊急の課題となっております。そうした状況の中で、後援会が捧げて下さる奨学金を通して、献身者に経済的な支援を提供し、3年間の神学教育と伝道訓練を身につけた神学生を、今まで以上に多くフィロドに伝道者として送り出すことができ体制が整いつつあります。そのような思いから、一人一人が「みんなのCBCのメンバー」として、後援会への

入会者がさらに多く起こされることを心から願い、祈っています。

ろう者聖書学校卒業式 後援会から記念品贈呈

後援会会長 峰田 将

中央聖書神学校の傘下にある「ろう者聖書学校」の卒業式が行われました。これは8月11日から13日まで名古屋で行われていた「ろう者聖会」の中で、第三聖会の時間をろう者聖書学校の入学式と卒業式に充てるという初めての試みで、ろう者聖書学校では第二回目の卒業式を盛大に行うことができました。

後援会といたしましては、二名の卒業生の方に記念品を贈呈するべく会長が出席させていただきました。

ろう者の方々
の伝道活動が今後ますます充実
発展していけますように、お
祈り申し上げます。
次第です。



後援会会員に寄稿をお願いしました。
2、3、4面に続く。

神学校から頂く希望に感謝して支援

人吉キリスト教会女性部会員

染川 俊子

人吉教会歴代の先生方には神学校新卒の先生方が数名おられます。新しい若々しい風を主が運んでくださいました。また、その先生方から神学校の話を聞く機会も多かったこと、それから校長の北野先生に数回足を運んで頂き、貴重な話を聞くことができました。ということで北野先生のファンも多いのではないかと思います。

《神学生の皆さまへ》献身して学んでおられる神学生でなければわからない主の祝福と恵みを感じておられることと思います。神学生の皆さまからは、CBCニュース等でいつも希望が与えられて感謝しております。また、私たちの信仰の模範となるようなお証を見て衿を正す思いになります。《神学校の先生に感謝》神学生の学びの為に尽力しておられる先生方は私たちに将来の希望を与えてくださる存在です。感謝しております。

神学校支援の思いを語っていただきま
した。

神学生の宣教への熱い思いを 応援しています

大阪中央福音教会

長澤 純一

CCC後援会の働きを感謝して
います。賛助会員の新設、充実した総会
議案書の作成と役員各位のご努力と熱
い思いに敬意を表します。なによりも
「教会会員」が増加していることは素
晴らしいことと思います。

さて、私が、中央聖書神学校後援会
の会員になったのは、何時からなのか
覚えていません。

今から三代前の牧師である鹿島外
雄師が神学校の舎監をされていて、当
時の事を熱く語ってくださいました。タ
ートではないかと思えます。語られ
た内容は①神学校は早天祈禱を続け
て、祈り込まれている特別な場所だ。
②神学校の財政は豊かではない、だか
ら支援する必要があります。の二点だっ
たように思います。後援会発足後、教会
役員の兄弟が、毎年、会員募集をして
おられました。この会員募集の働きは、
今も役員に引き継がれています。

神学生の方々の宣教への熱い思い

が、私に、神様の為に何が出来るか
を、尋ねられる機会となっております。
これが会員になって一番良かったこと
です。「神学校への物的・財的支援を」
という、この後援会の趣旨を大切にし
て微力ながらも支援を続けてまいりま
す。

神学生の皆さん、皆さんの学び、
祈り、働きと生活の断片をFacebook
で紹介されていることは素敵なことだ
と思えます。個人的な意見ですが、神
学生各位の記名の紹介記事、これはお
勧めです。Facebookに登録していな
くてもパソコンで見ることができま
す、まだ見たことがない方は一度ご覧
になっては如何でしょうか、お勧めし
ます。

絶えず更新を続けておられる神学生
の皆さん、この媒体を大いに活用して
ください。「いいね！」をいれていな
い応援者はたくさんいると思えます。
人は現実を知ることから祈りが始まり
ます。情報発信大いにしてください。

🔍 編集者より 🔍 🔍 🔍 🔍 🔍

中央聖書神学校

「声」を開きますと、たかどの「東京
駒込にある中央聖書神学校の学生日記
」を見ることが出来ます。

リバイバルの火種となってい ただきたいと願います

結城キリスト教会

柏 与志子

私が最初に神学生にお世話になり
ましたのは全国聖会の折でした。私
達信徒は先生方といっしょに学生寮
の個室で寝泊まりさせて頂き、食事
は朝昼晩の三食とも神学生が作って
くださいました。早天に続く三回の
聖会そして夜は学生寮での祈禱と、
めぐみに恵まれた聖会でしたが大忙
しの学生さんは殆ど聖会には出席で
きなかったのではと今更ながら有難
くも又申し訳なく思っております。

さて、結城教会では献堂から7年を
経た昭和29年にリバイバルを経験しま
した。長島先生を中心に明けても暮れ
てもリバイバルを待望し祈っていた当
時それは何の前触れもなく突然の事だ
した。日曜日の夜の集會に白石亭先
生が聖霊に導かれて会堂の四隅をきよ
めてサタンへの介入を禁じると、会堂全
体が一変し聖霊の臨在感で身動き一つ
できないような張り詰めた空気と言っ
たらいいの、言葉で言いあらわせない
全く厳肅な雰囲気包まれてしま
いました。そして全員悔い改めが始まり

ました。信徒は更に潔められる必要が
あったのだと思います。それからしば
らくはそのような状態が続きました。
集會ごとに聖霊様が充滿し長島先生の
異言と訳のメッセージを震えるほど嚴
肅な思いで聞きました。先生は「これ
はプレリユード(序曲)だ。プレリユ
ードは短いがいつか必ず大きな御業が
起こる筈」とおっしゃいました。

あれから60有余年、リバイバルを待
ち望みつつ長島先生はじめ多くの先輩
方が天に召されて帰られました。そ
のバトンは次の世代に渡されていま
す。特に神学生に受け取っていただき
たいと願っています。アメリカでのリ
バイバルは神学生の祈禱会から始まっ
たと聞いておりますが、日本でも今こ
そ大リバイバルが必要な時代ではない
でしょうか。そう思うとき神学校の役
割は大変重要なものであると感じま
す。

神学生の皆さまどうぞリバイバル
の火種となって用いられますように。
私どもも尚一層神学校の為に祈り
支援していきたいと思ひ、当教会の
方々にも後援会への入会をお願いして
いるところです。



十月月の分割にしたら、と 神様に知恵をいただいて

中村福音キリスト教会

木村 登志

CBC後援会会費が年間、一口5000円は、ささげるのが少しきついかなど思っていました。これを十等分して、ワンコイン500円を十月月の分割にしたらもつとささげやすいと思いつきました。2月から11月に分割してささげるといつのまにか5000円が集まっていてささげられると思えました。オリジナルの封筒を作ったの取り集めを思いついたのです。

このごろは10000円を5回の人も有ります。10000円と5000円がまじっている人もあります。11月の終わりにほどの人も1口分集まっている仕組みです。種類の封筒で済みます。神様が祝し、導いてくださっているので、まちがえそうになった時もありましたが解決します。ささげる時は礼拝献金と共にします。それを会計さんがまとめて私に渡してくれます。その日のうちに(済)と赤ペンでサインして各自の週報ボックスに空の封筒を返しています。

昨年賛助会員だった人が二人とも今

年は分割の合計が5000円になる組に入ってくれています。その他に一括の人々もおります。今年も教会全体でまとめてささげられる見通しで感謝しております。5人まで一枚の振り替えで住所も全員教会にしております。

私は昔からお金を数えるのが好きでした。会計さんから預かる時いつも心にポツと灯がともるようで嬉しく感じます。

この働きも神さまがなさせて下さる使命のように感じるこの頃です。

イエス様に栄光有るよう



賛助会員は3人の学生さんの 思いから始まりました

今年度からお奨めをさせて頂いています「賛助会員」は3人の学生さんが「経済的な余裕はないが、何としても神学校を支援したい」との申し出を受け後援会委員会で様々に議論した結果設けた会員です。それぞれの経済的な状況に応じた支援をしていただけます。どうぞ祈りつつ、ご支援の仲間になつて下さい。

今年も、会費納入ありがとうございます。

毎年、その年の会費を原資に神学校に献金しています。今年分を12月末に献金します。どうぞ、祈りと共に今年度会費をお送りください。

2016年1月～9月の会費収入の現況は左記の通りです。個人会員・賛助会員の新規加入の方が増えてい

法人会員	4社	15万円
教会会員	22教会	51万円
個人会員	138人	100万円
賛助会員	20人	5.85万円
合計	184会員	171.85万円

2017年度 年次総会開催 のご案内

後援会会員、賛助会員は是非ご出席願います。まだ会員になっていない方も歓迎します。どうぞおいで下さい。

日時：2017年2月25日(土)

13時30分～14時20分

神学生の証と賛美と…

14時30分～15時30分

総会

15時30分～16時30分

茶話会(茶菓代500円)

場所：中央聖書神学校チャペル

広報活動報告 9月

9月19日

関東南西教区西地区東京ブロック聖会(藤井敬朗教区長)に酒井源次書記、岩本章子監事が参加し、酒井書記より入会をお願いをしました。

9月19日

阿蘇聖会(九州教区・佐藤羊一教区長)において佐藤清監事がアピール。



台風接近の

ニュースの最中の熊本聖会でしたが、100以上の参加者があり、主の聖名を崇め感謝しました、そして和やかなう

ちに聖会が導かれてまいりました。幸いな交わりの中で、後援会メンバーとの交わり及び先生方による励ましの言葉。聖会最後で講師の3名の先生に対するねぎらいの拍手。加えて神学校後援会より遣わされた私のために労いの拍手を頂きました。感謝。

広報活動報告 10月

10月2日

金沢基督教会（主管者・船津行雄牧師）

第二礼拝に峰田会長、酒井書記、岩本監事が出席し、入会をお願いをいたしました。

来年は必ず会員になると堅く約束して下さる兄弟もいました。船津牧師から後援会役員としてご奉仕いただける兄弟も紹介いただきました。



10月10日

中国教区山陽地区聖会（中原信恵教区長）に岩本章子監事が参加し入会のアピールをいたしました。

今年から中国教区での聖会が山陽地区と山陰地区に分かれて持たれるようになり、10月10日（月）、山陽地区聖会が行なわれた宇部神召キリスト教会に行ってきました。

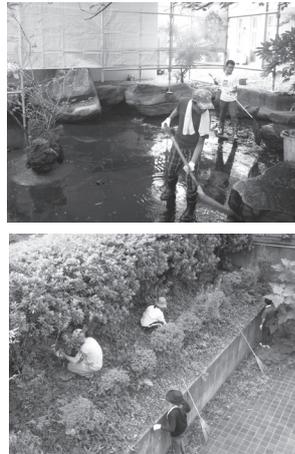
時間的な制約の中でしたが、現実的な方法でのアピールをさせていただきました。

CBC夏期ボランティア

後援会会長

峰田 将

恒例になってきた後援会の夏期ボランティア奉仕は、今年も8月11日（山の日）に開催されました。



奉仕の内容は前年度とほぼ同じで、校舎周辺の雑草取りと池の水を入れ替える作業でした。

大変日差しの強い炎天下の奉仕ではありましたが、無事終了することができました。



参加者は、学校側から校長先生以下6名、各教会後援会から8教会29名で合計35名での奉仕活動でした。



後援会の参加者はそれほど多くありませんでしたが、何より嬉しかったのは8教会に上る多くの教会から参加していただいたことでした。

バーベキューの後の午後の時間は、食堂に集まり自己紹介や教会紹介などをしながらお互いに知り合う良い機会が与えられたことは後援会活動の広がりを期待させるものでした。

ご参加くださった皆様に感謝申し上げます。

参加者の声

小岩栄光キリスト教会

塚本 勝

草刈や樹木の剪定をして神学校を綺麗にしたいと思い参加しました。また去年のバーベキューや西瓜割り等の食事が楽しかったのです。

夏蜜柑や桜、シュロなど沢山の木があり剪定はそれなりに大変でした。多くの方が参加して神学校がきれいになったのを見てうれしく思いました。

編集後記

今号は会員の皆様にご寄稿をお願いしました。今後とも広く皆様のお声を掲載させていただきたいと願っています。ご寄稿をお待ちしています。次号は来年5月、2016年会員名と総会の報告をする予定です。



発行 中央聖書神学校後援会

所在地 〒170-0003

東京都豊島区駒込3-15-20

Te1 03-3918-4925

Fax 03-3918-4064

E-mail: cbc@agj.or.jp

編集 後援会委員会

印刷所 ベーテルフォト印刷株

発行日 2016年11月9日